

茨木市次世代育成支援に関するニーズ調査

結果速報（案）

（就学前児童・小学生児童）

平成31年（2019年）2月

茨木市

I. 調査概要

1 調査目的

現行の「茨木市次世代育成支援行動計画」が2019年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）」を策定することとしている。本調査は、新たな計画策定にあたって、市民の子ども・子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望、また子育て世帯の生活実態、意見・要望などを把握することを目的に実施した。

2 調査設計

- (1) 調査地域 茨木市全域
- (2) 調査対象
 - ・市内在住の就学前児童の保護者
 - ・市内在住の小学生の保護者
- (3) 対象者数 住民基本台帳から、就学前児童の保護者 2,000 人、小学生の保護者 2,000人の合計4,000人を無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配付及び郵送回収による郵送調査法（調査期間中に礼状兼督促はがきを送付）と、インターネット調査
- (5) 調査期間 平成30年12月13日（木）～平成30年12月27日（木）

3 回収結果

区分		配付数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	平成30年度調査	2,000	1,139	57.0%
	平成25年度調査	2,000	1,034	51.7%
小学生の保護者	平成30年度調査	2,000	1,087	54.4%
	平成25年度調査	2,000	958	47.9%
計	平成30年度調査	4,000	2,226	55.7%
	平成25年度調査	4,000	1,992	48.6%

4 調査結果の見方

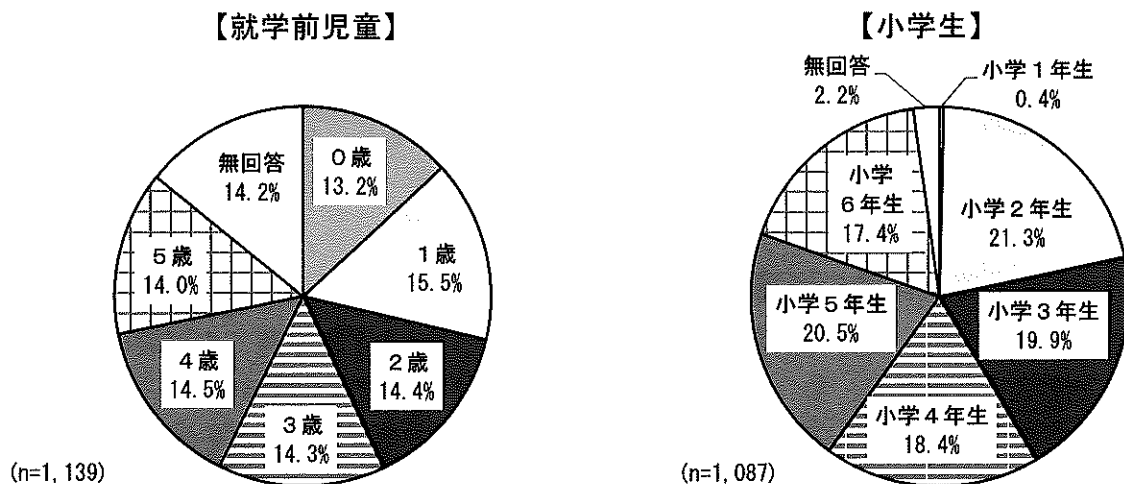
- (1) 集計値は、回答不備等进行处理する前の暫定値であり、確定値ではない。
- (2) 図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示す。
- (3) 回答比率（％）は回答者数（n）を100％として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。小数点以下の端数処理の関係で、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- (4) 図表中に「MA％」「3LA％」の表示がある場合は、複数回答（すべてに○、3つまでに○等）を依頼した質問であり、回答比率（％）の計は100.0％を超える。
- (5) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

Ⅱ. 調査結果

1 家族構成・保護者の就労状況などについて

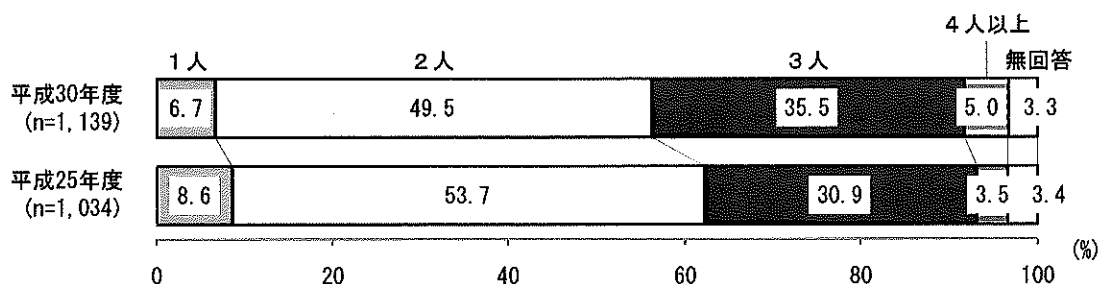
(1) 対象の子どもの年齢と学年 [就学前児童・小学生…問3]

- 就学前児童は、「1歳」が15.5%で最も多く、次いで「4歳」(14.5%)、「2歳」(14.4%)となっている。
- 小学生は、「小学2年生」が21.3%で最も多く、次いで「小学5年生」(20.5%)、「小学3年生」(19.9%)となっている。



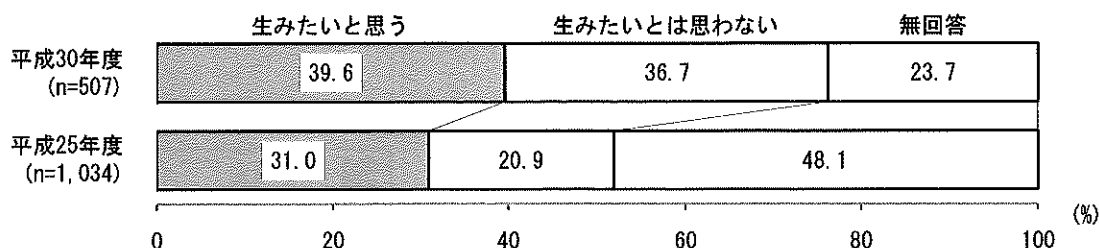
(2) 希望の子どもの数 [就学前児童…問5]

- 希望の子どもの数は、「2人」が49.5%で最も多く、次いで「3人」(35.5%)であり、平成25年度調査に比べて「3人」、「4人以上」の割合が高くなっている。



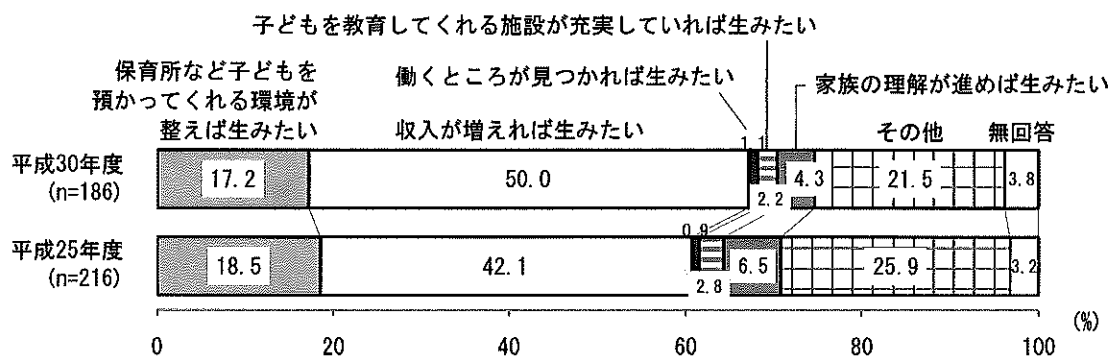
(3) (希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方に) 現在の環境において、もう1人以上子どもを生みたいか。 [就学前児童…問6]

- もう1人以上子どもを生みたいかについては、「生みたいと思う」が39.6%、「生みたいとは思わない」が36.7%となっており、いずれも平成25年度調査より高い割合となっている。



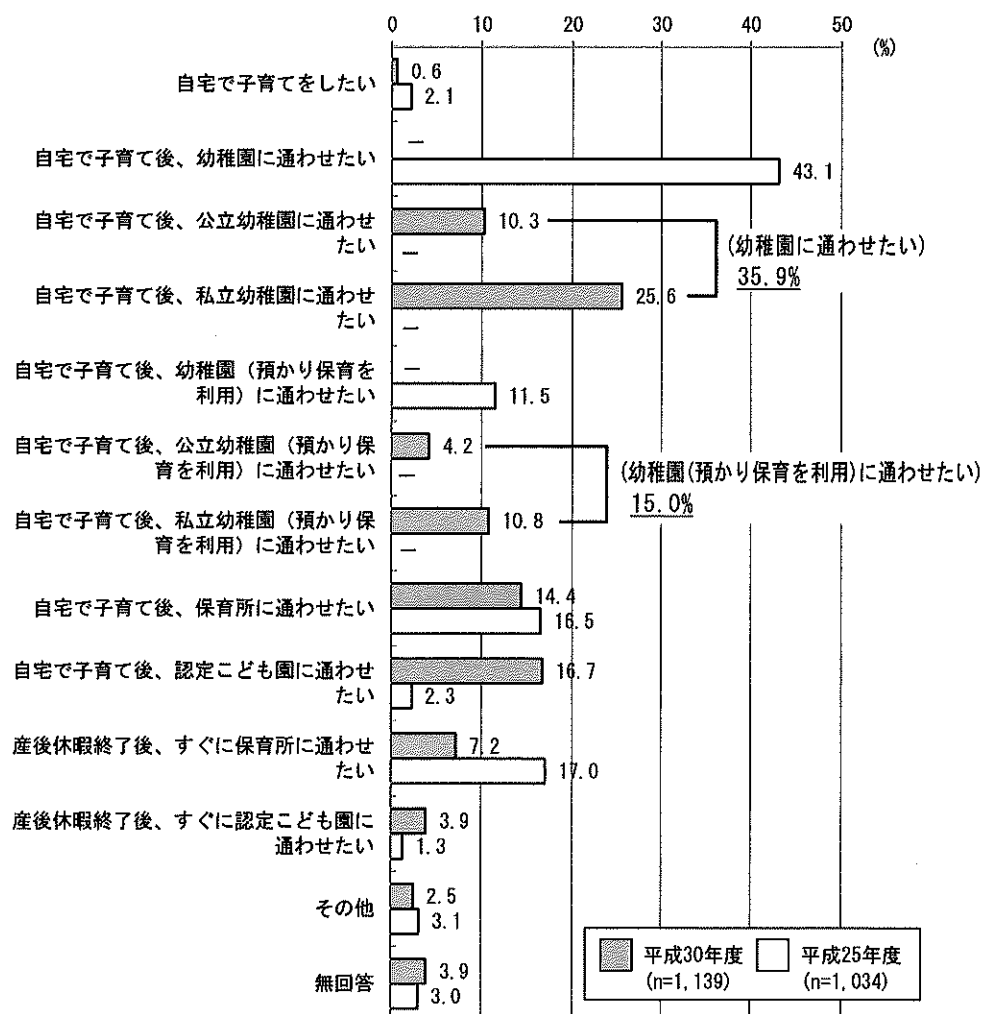
(4) 「生みたいとは思わない」を選ばれた方に) どのような環境が整えば、もう1人以上子どもを生みたいか。[就学前児童…問6-1]

■どのような環境が整えば、もう1人以上子どもを生みたいかについては、「収入が増えれば生みたい」が50.0%で最も多く、次いで「保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば生みたい」が17.2%となっている。平成25年度調査と比べて「収入が増えれば生みたい」は7.9ポイント高くなっている。



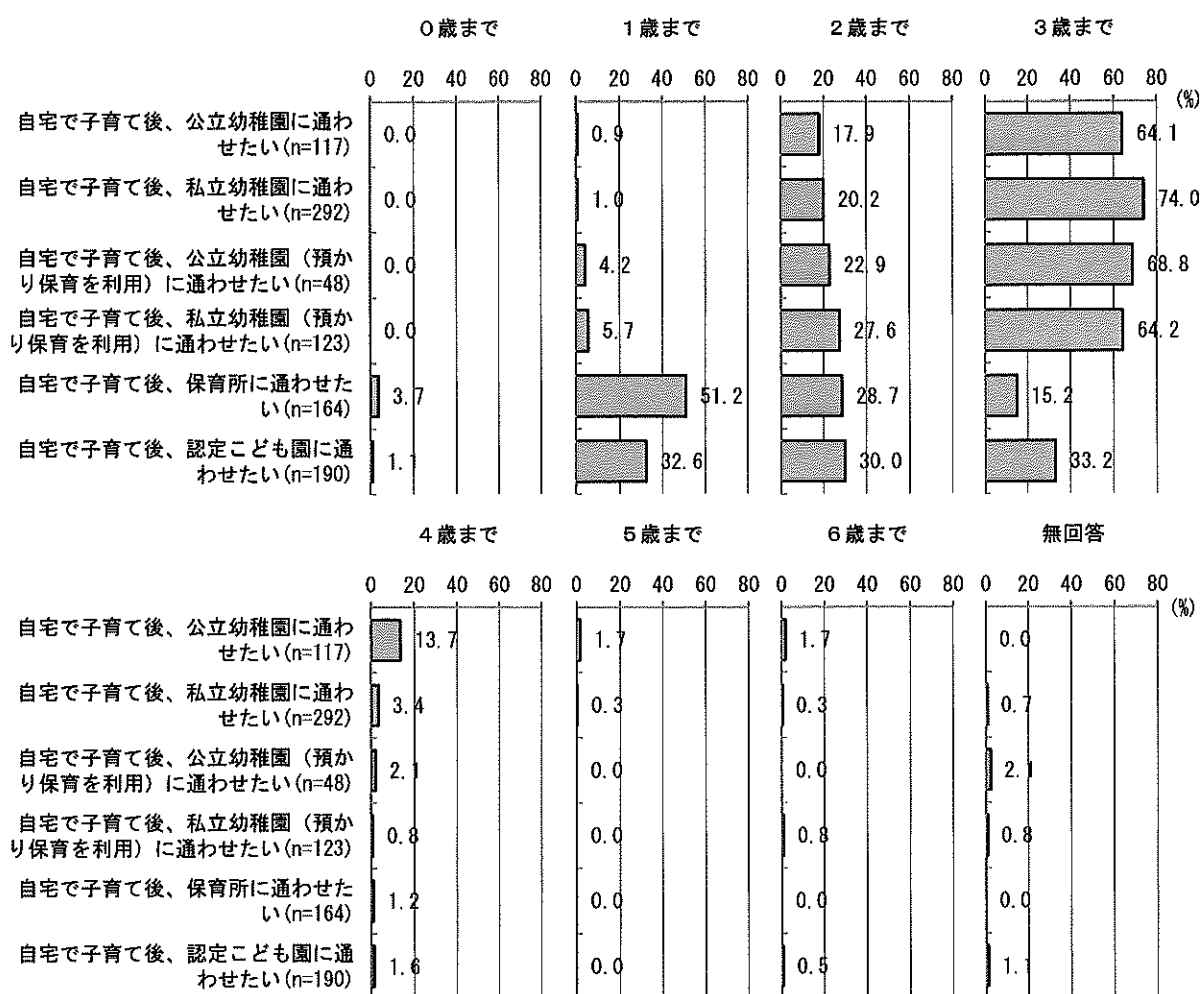
(5) 希望する子育ての環境 [就学前児童…問9]

■幼児期の教育・保育の無償化が実施された場合の希望する子育ての環境については、「自宅で子育て後、私立幼稚園に通わせたい」が25.6%で最も多く、次いで「自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい」が16.7%となっている。平成25年度調査と比べて幼稚園に通わせたい人は7.2ポイント低く、認定こども園に通わせたい人が14.4ポイント高くなっている。



□希望する子どもの年齢

■希望する年齢については、自宅で子育て後、公立または私立幼稚園に通わせたいとの回答は「3歳まで」がいずれも6割以上となっており、保育所に通わせたい人では「1歳まで」が51.2%、認定こども園では「3歳まで」が33.2%で最も多くなっている。

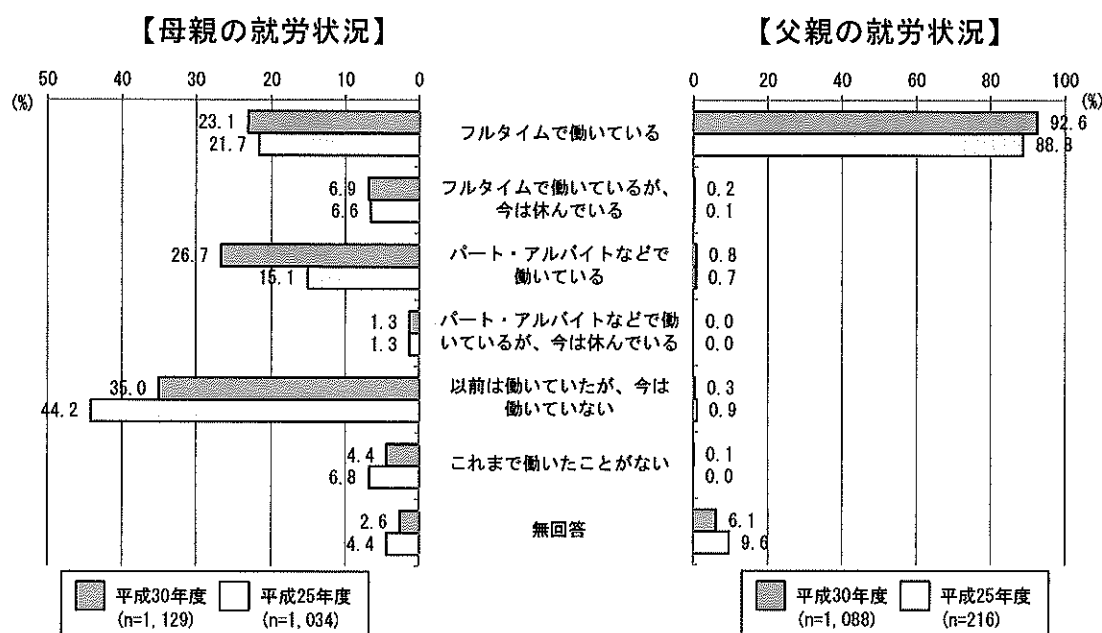


(6) 母親・父親の就労状況 [就学前児童…問12・13、小学生…問9・10]

■就学前児童の母親の就労状況は、「以前は働いていたが、今は働いていない」が35.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が26.7%で、フルタイムもしくはパート・アルバイトで就労している人とも平成25年度調査より高い割合となっている。

■父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が92.6%を占めており、平成25年度調査より3.8ポイント高くなっている。

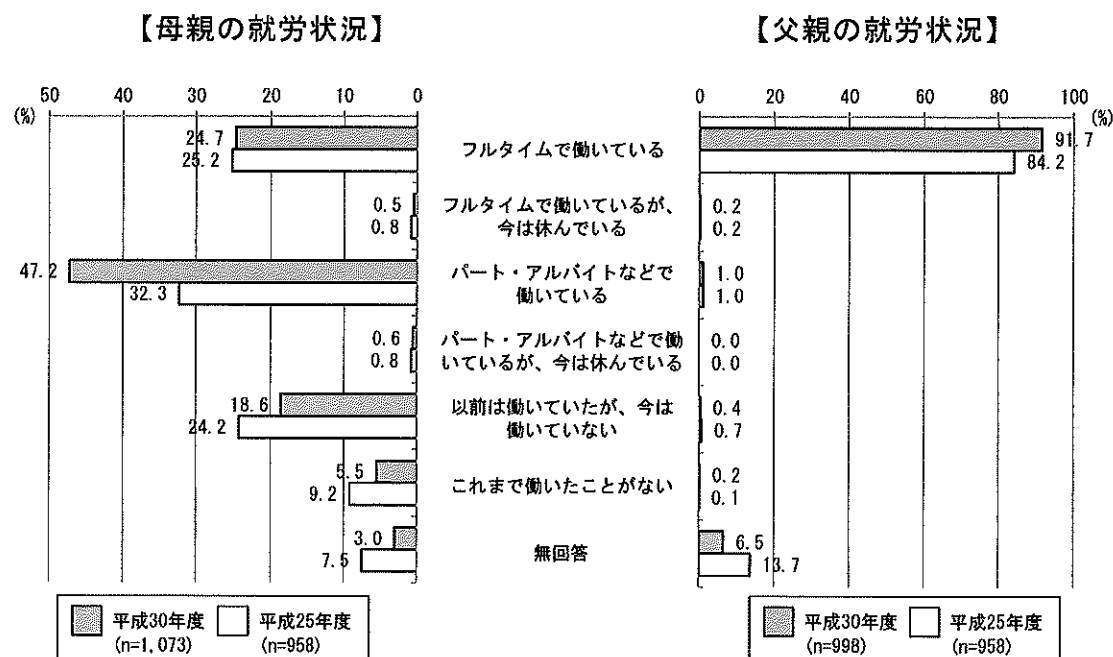
〔就学前児童〕



■小学生の母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで働いている」が47.2%で最も多く、平成25年度調査より14.9ポイント高い。次いで「フルタイムで働いている」が24.7%となっている。

■父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が91.7%を占めており、平成25年度調査より7.5ポイント高くなっている。

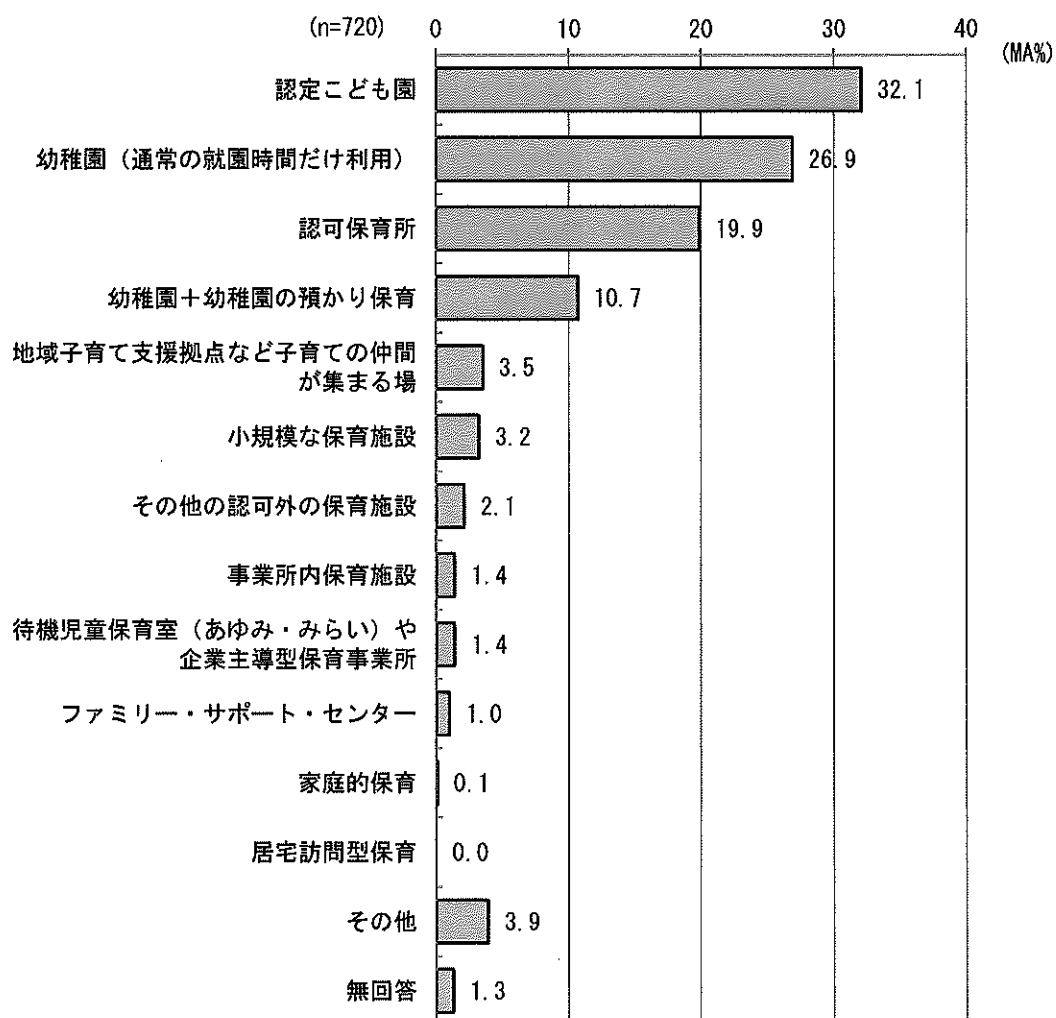
〔小学生〕



2 平日の定期的な施設やサービス利用について

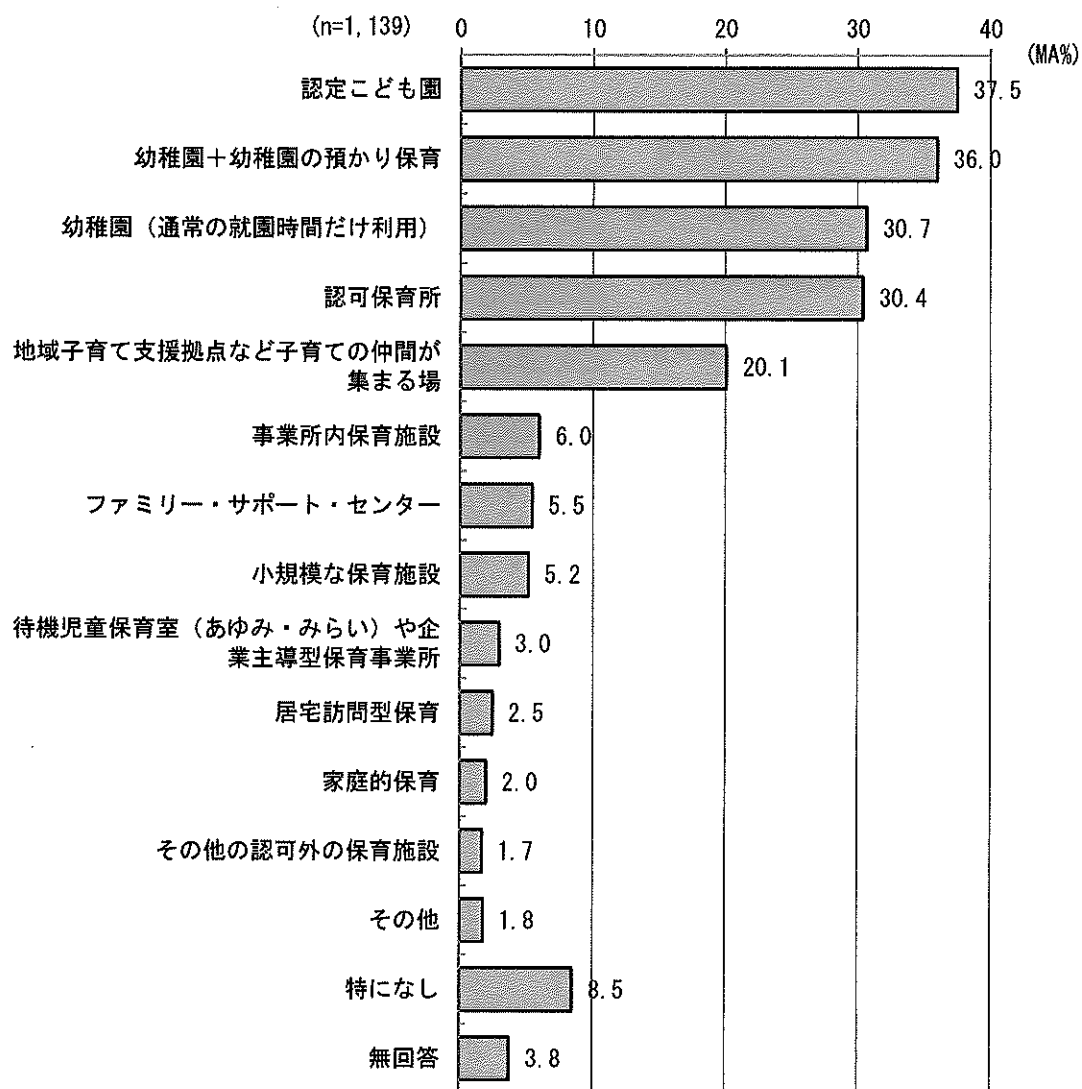
(1) 平日に定期的に利用している施設やサービス [就学前児童…問16-2]

■ 平日に定期的に利用している施設やサービスについては、「認定こども園」が32.1%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」が26.9%、「認可保育所」が19.9%となっている。



(2) 平日に定期的に利用したい施設やサービス〔就学前児童…問18〕

■平日に定期的に利用したい施設やサービスは、「認定こども園」が37.5%で最も多く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が36.0%となっている。

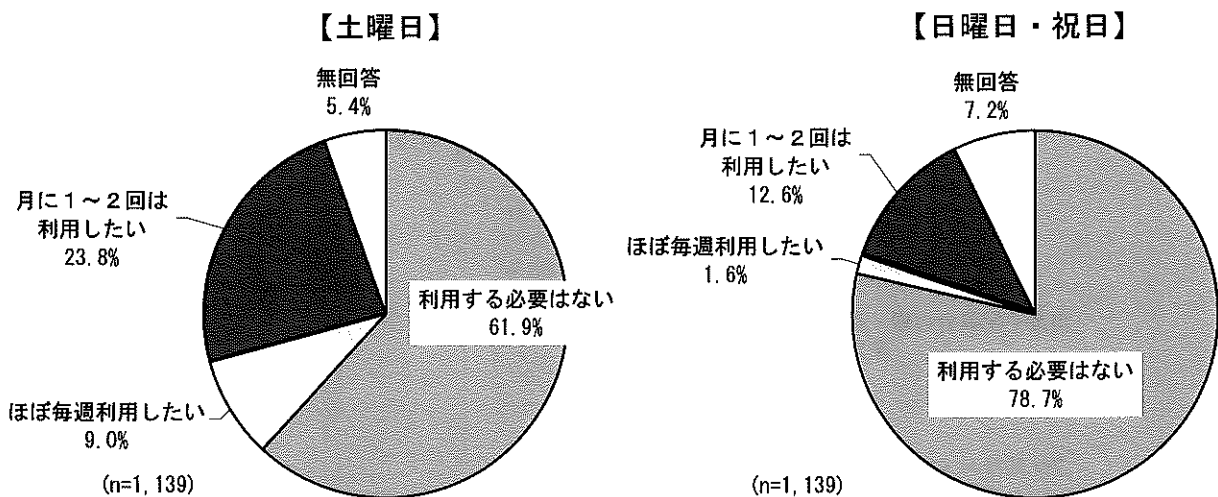


3 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日の利用について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望 [就学前児童…問19(1)(2)]

■土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望については、土曜日は、「利用する必要はない」が61.9%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が23.8%となっている。

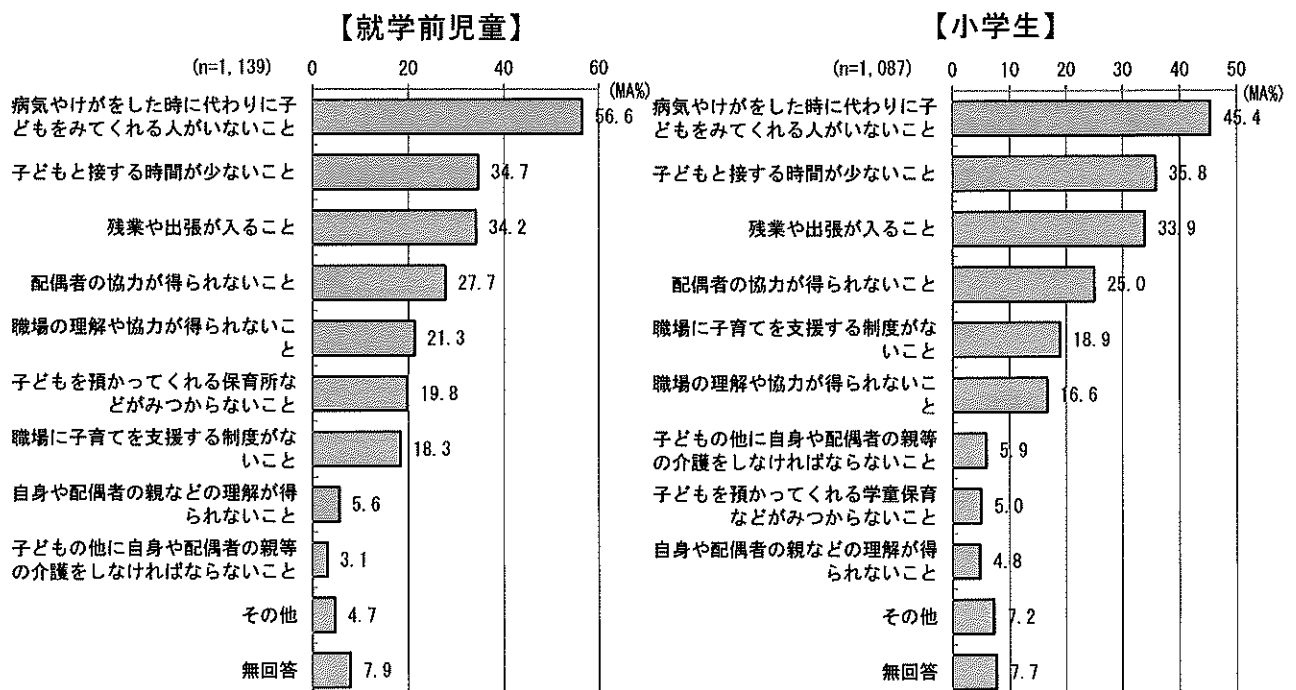
■日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が78.7%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が12.6%となっている。



4 仕事と子育ての両立について

(1) 仕事と子育てを両立させる上での課題 [就学前児童…問24、小学生…問21]

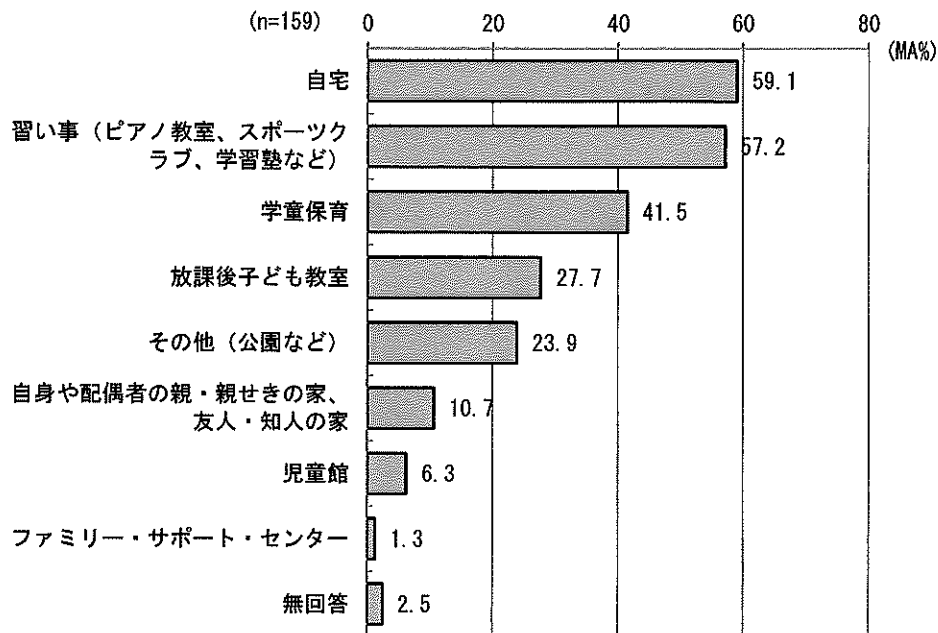
■仕事と子育てを両立させる上での課題については、就学前児童、小学生とも「病気やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も多く、就学前児童が56.6%、小学生が45.4%となっている。次いで就学前児童、小学生とも「子どもと接する時間が少ないこと」「残業や出張が入ること」が続いている。



5 小学校就学後の放課後の過ごし方について

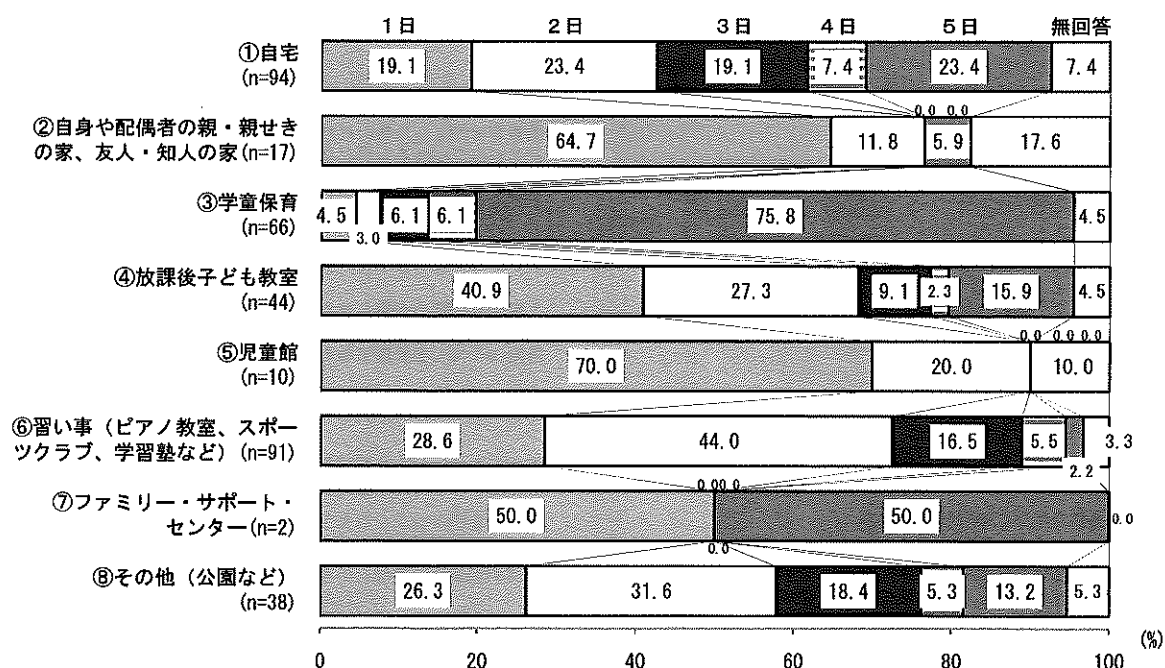
(1) 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方 [就学前児童…問25]

■希望する小学校低学年の放課後の過ごし方については、「自宅」が59.1%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が57.2%、「学童保育」が41.5%となっている。



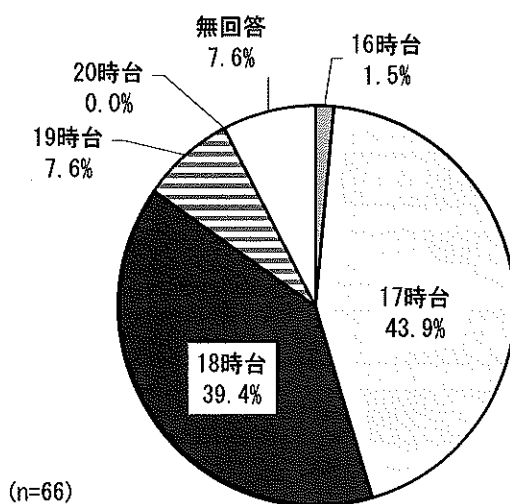
■希望する放課後の過ごし方のそれぞれの利用希望日数は、①自宅は「2日」と「5日」が23.4%で最も多い。③学童保育は「5日」が75.8%を占めており、④放課後子ども教室は「1日」が40.9%で最も多い。

口週あたりの利用希望日数



- 「学童保育」と回答した人の利用希望時間は、下校時から「17時台」が43.9%で最も多く、次いで「18時台」が39.4%となっている。

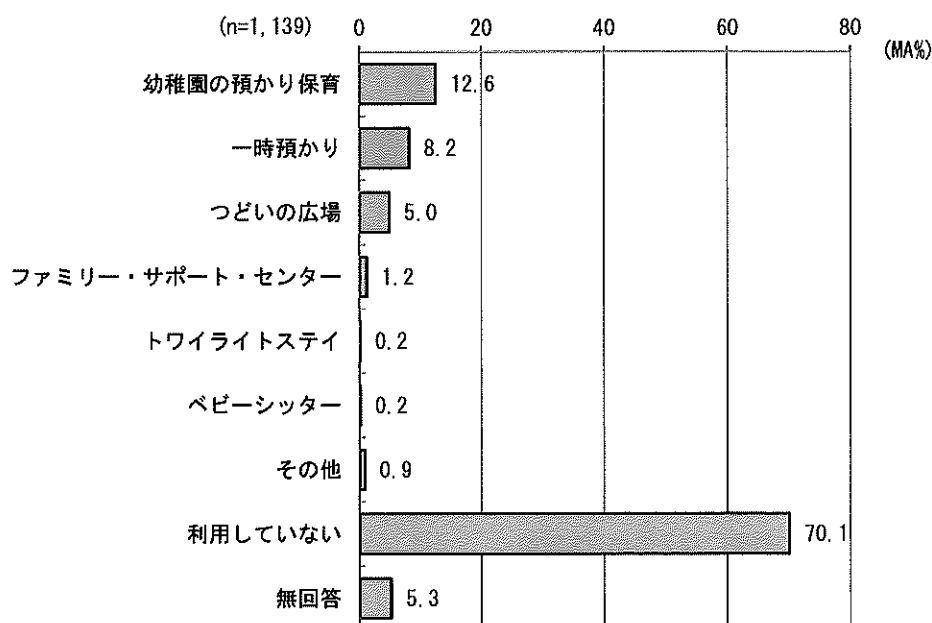
□学童保育の利用希望時間



6 子どもを預かるサービスの不定期的な利用について

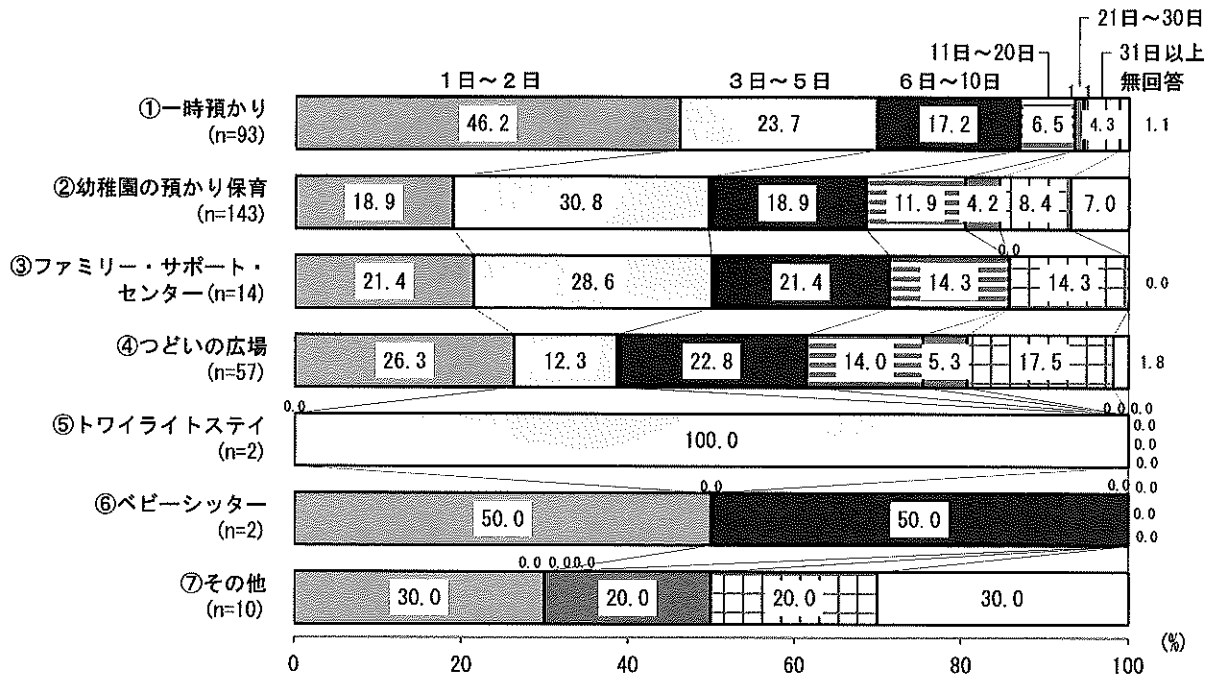
(1) 不定期的に利用した子どもを預かるサービス【就学前児童…問32】

- 不定期的に利用した子どもを預かるサービスについては、「利用していない」が70.1%で最も多い。利用した人では「幼稚園の預かり保育」が12.6%で最も多く、次いで「一時預かり」が8.2%、「つどいの広場」が5.0%となっている。



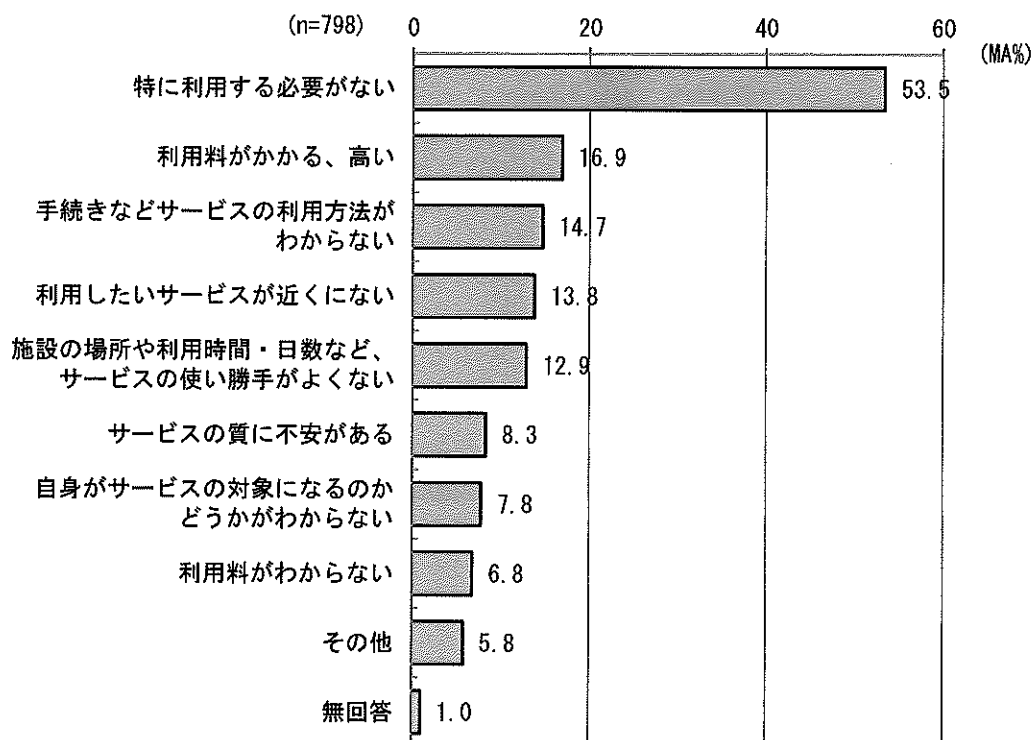
■預かり先別の1年間の利用日数は、①一時預かりと④つどいの広場は「1日～2日」が最も多く、②幼稚園の預かり保育と③ファミリー・サポート・センター、⑤トワイライトステイは「3日～5日」が最も多くなっている。

□預かり先別 1年間の利用日数



(2) 現在利用していない理由 [就学前児童…問32-1]

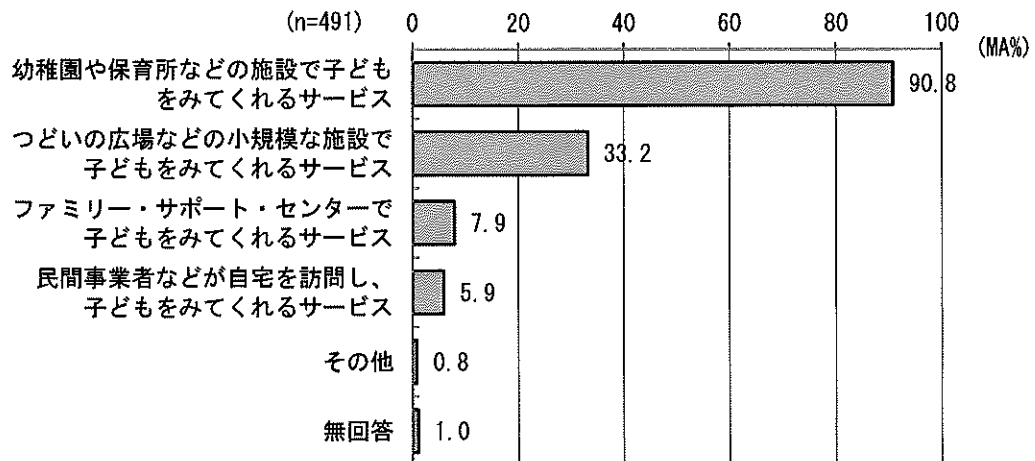
■現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が53.5%で最も多く、次いで「利用料がかかる、高い」が16.9%、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」が14.7%となっている。



(3) 一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービス

[就学前児童…問33-1]

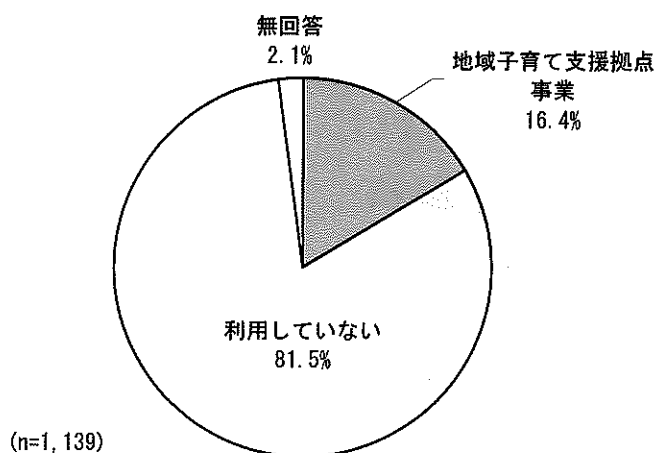
- 一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービスについては、「幼稚園や保育所などの施設で子どもをみてるサービス」が90.8%で最も多く、次いで「つどいの広場などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」が33.2%となっている。



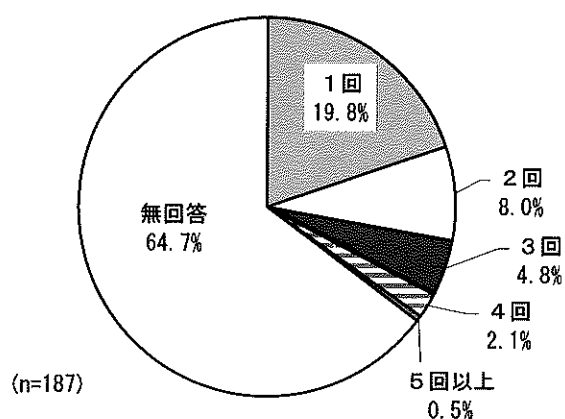
7 地域子育て支援サービスの利用について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無 [就学前児童…問35]

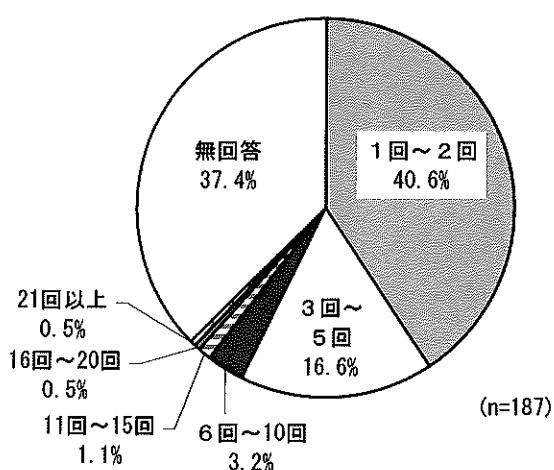
- 地域子育て支援拠点事業の利用については、「地域子育て支援拠点事業」を利用している人は16.4%で、「利用していない」人は81.5%となっている。
- 利用している人の1週間あたりの利用回数は、「1回」が19.8%で最も多く、次いで「2回」が8.0%となっている。
- 利用している人の1ヶ月あたりの利用回数は、「1回～2回」が40.6%で最も多く、次いで「3回～5回」が16.6%となっている。



□ 1週間あたりの利用回数



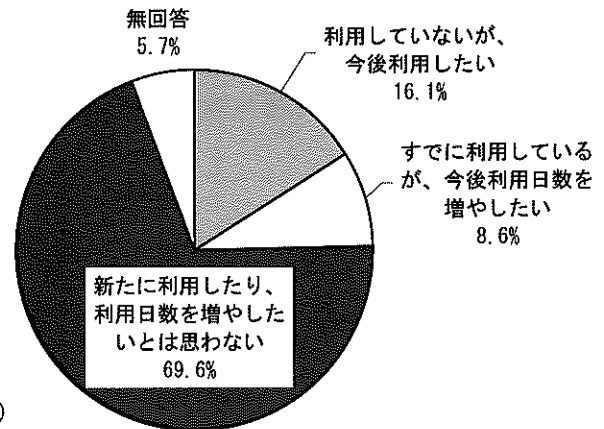
□ 1ヶ月あたりの利用回数



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 [就学前児童…問36]

■地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が69.6%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が16.1%となっている。

(n=1,139)

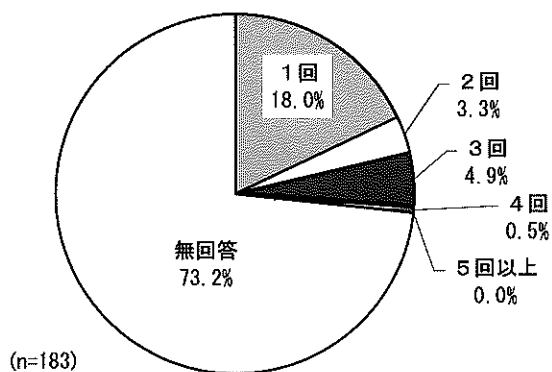


■利用していないが、今後利用したい人の1週間あたりの利用希望回数は、「1回」が18.0%で最も多く、1ヶ月あたりの利用希望回数は「1回～2回」が48.1%で最も多い。

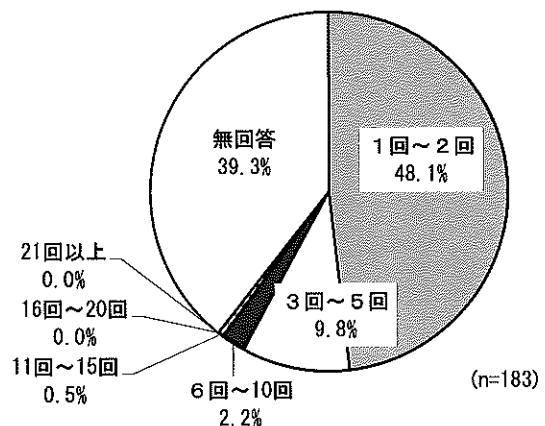
■すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の1週間あたりの利用希望回数は、さらに「1回」が20.4%で最も多く、1ヶ月あたりの利用希望回数はさらに「3回～5回」が19.4%が最も多くなっている。

[利用していないが、今後利用したい]

□ 1週間あたりの利用希望回数

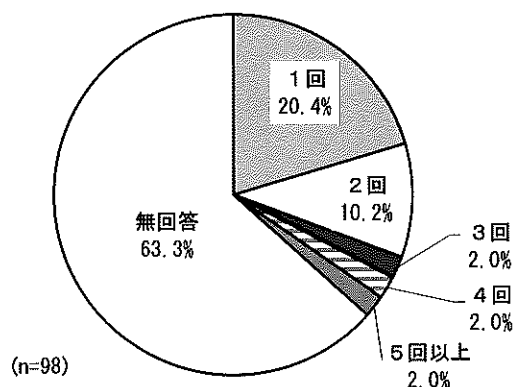


□ 1ヶ月あたりの利用希望回数

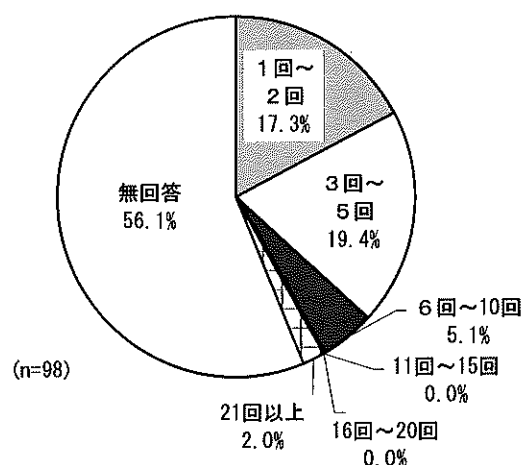


[すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい]

□ 1週間あたりの利用希望回数

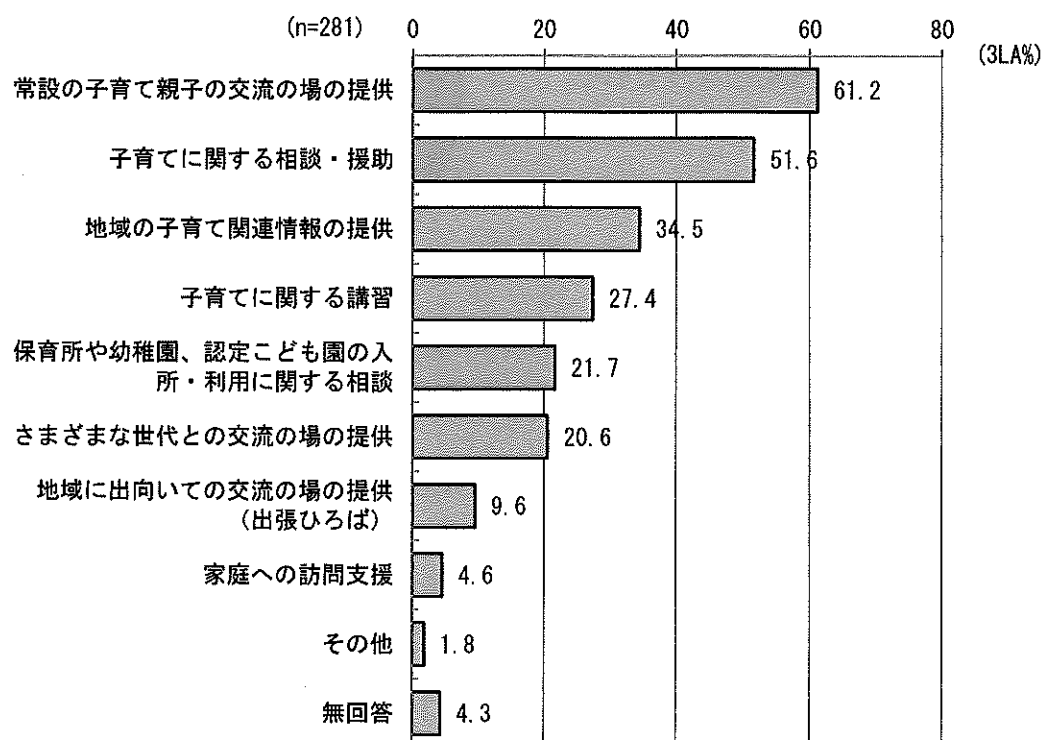


□ 1ヶ月あたりの利用希望回数



(3) 利用したい地域子育て支援拠点事業のサービス〔就学前児童…問36-1〕

- 利用したい地域子育て支援拠点事業のサービスについては、「常設の子育て親子の交流の場の提供」が61.2%で最も多く、次いで「子育てに関する相談・援助」が51.6%、「地域の子育て関連情報の提供」が34.5%となっている。

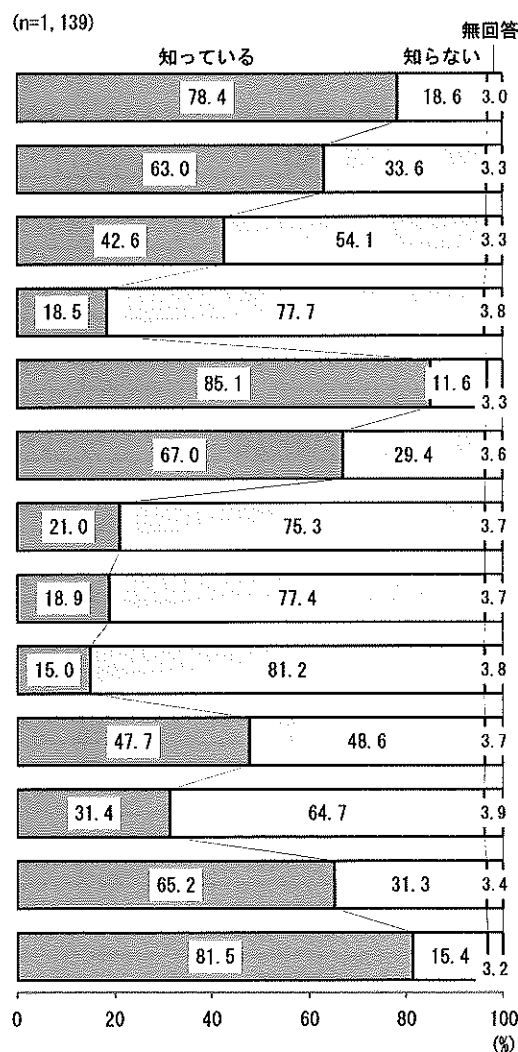


(4) 子育て支援サービスの認知度 [就学前児童…問37(1)]

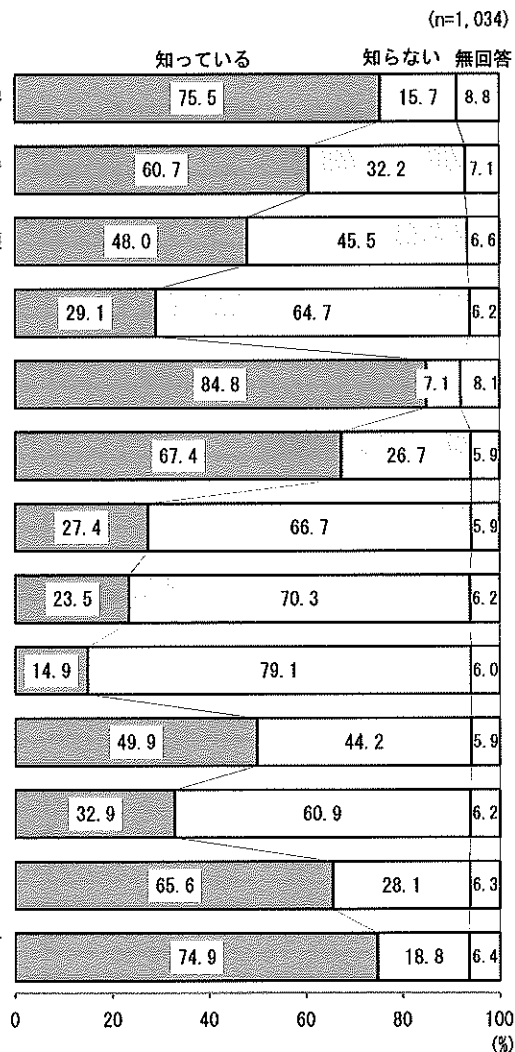
■子育て支援サービスの認知度については、「知っている」が最も高いのは“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”（85.1%）で、次いで“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”（81.5%）、“①母親・父親学級、両親学級、育児学級”（78.4%）となっている。

■“①母親・父親学級、両親学級、育児学級”、“②こども健康センターの情報提供・相談サービス”、“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”、“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”は平成25年度調査に比べ、割合が高くなっている。

【平成30年度調査】



【平成25年度調査】



※平成25年度調査では、④は「青少年センター各種講座」、⑤は「保育所や幼稚園の園庭などの開放」として質問している。

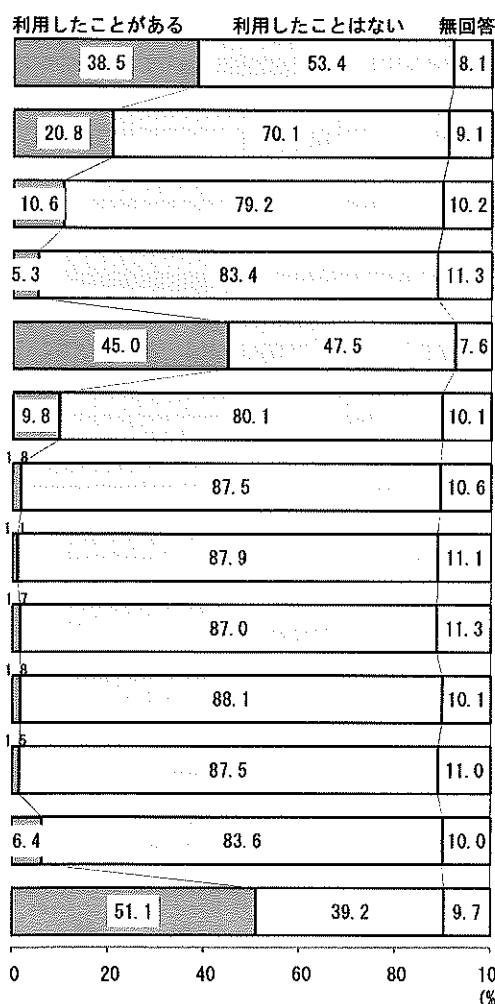
(5) 子育て支援サービスの利用経験〔就学前児童…問37(2)〕

■子育て支援サービスの利用経験については、「利用したことがある」が最も高いのは“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”（51.1%）で、次いで“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”（45.0%）、“①母親・父親学級、両親学級、育児学級”（38.5%）となっている。

■“④上中条青少年センター、認定こども園各種講座”、“⑥子育ての総合相談窓口（こども相談室）”、“⑧子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）”、“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”は平成25年度調査に比べ、割合が高くなっている。

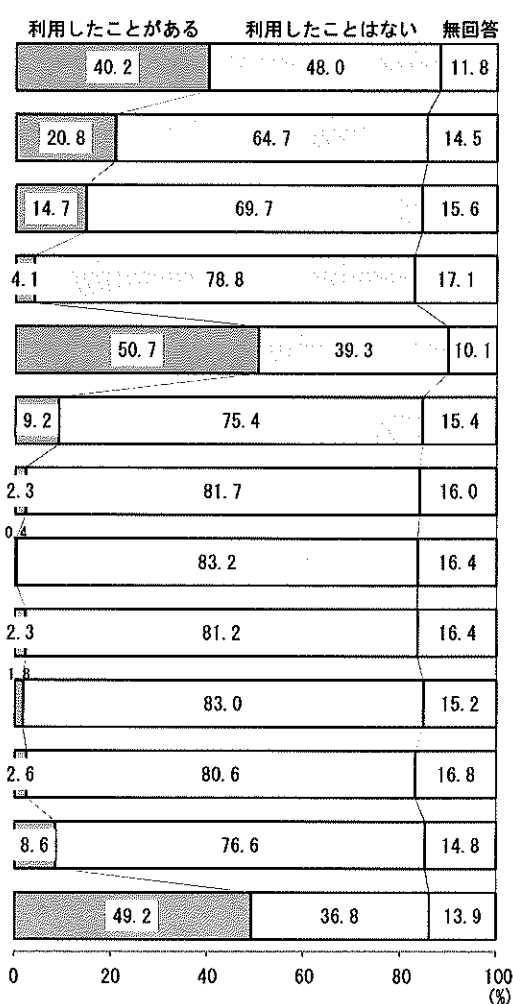
【平成30年度調査】

(n=1,139)



【平成25年度調査】

(n=1,034)



※平成25年度調査では、④は「青少年センター各種講座」、⑤は「保育所や幼稚園の園庭などの開放」として質問している。

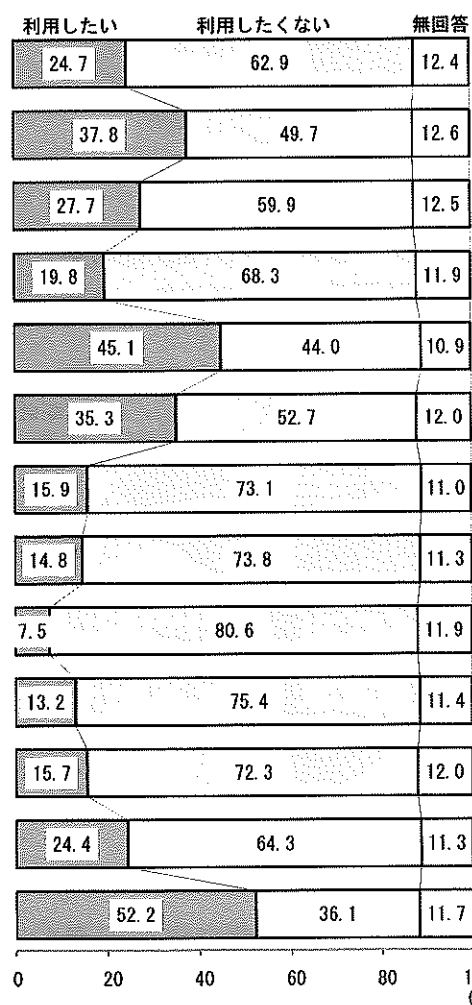
(6) 子育て支援サービスの利用希望〔就学前児童…問37(3)〕

■子育て支援サービスの利用希望については、「利用したい」が最も高いのは“⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）”（52.2%）で、次いで“⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放”（45.1%）、“②こども健康センターの情報提供・相談サービス”（37.8%）となっている。

■いずれの項目も「利用したい」の割合は平成25年度調査より低くなっている。

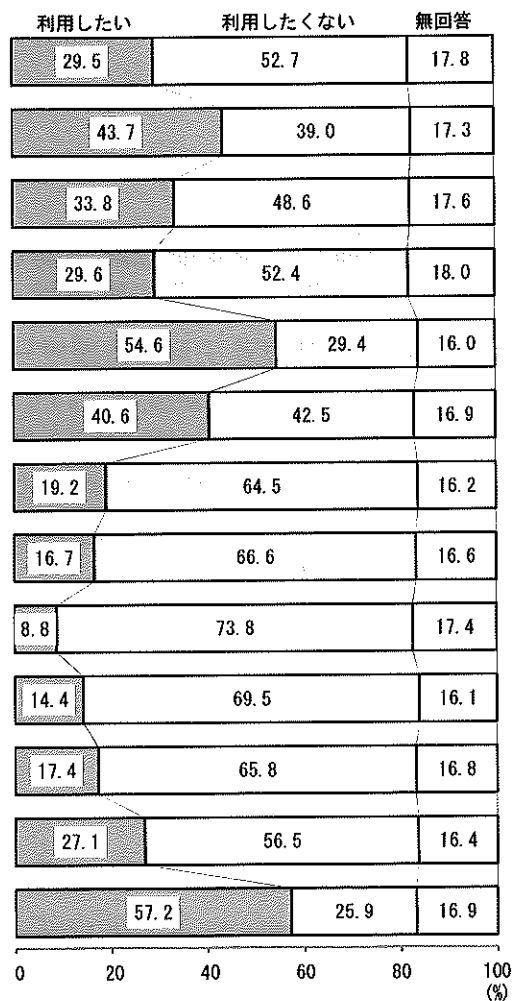
【平成30年度調査】

(n=1,139)



【平成25年度調査】

(n=1,034)

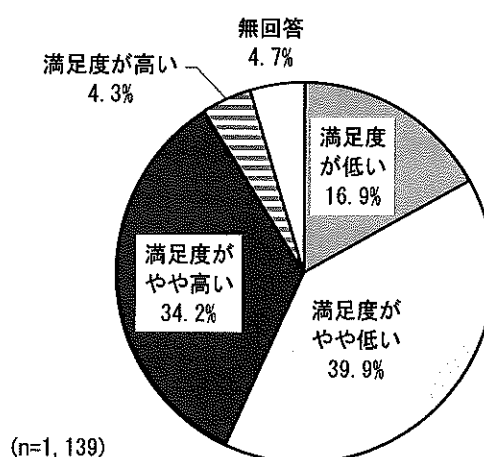


※平成25年度調査では、④は「青少年センター各種講座」、⑤は「保育所や幼稚園の園庭などの開放」として質問している。

8 市役所などへの要望について

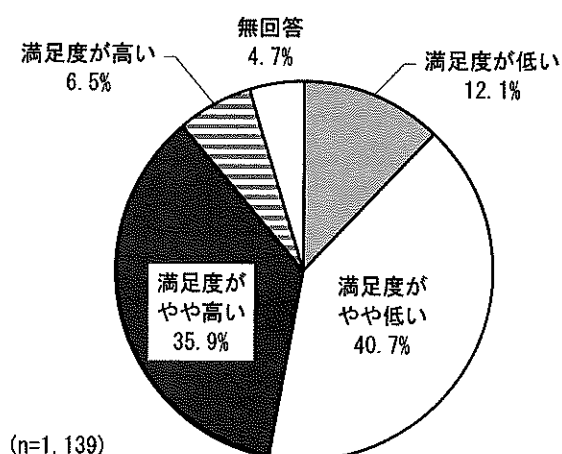
(1) 茨木市における子育てに関する満足度 [就学前児童…問38]

■茨木市における子育てに関する満足度については、「満足度がやや低い」が39.9%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(34.2%)で、『満足度が低い』(「満足度が低い」と「満足度がやや低い」をあわせた割合)は56.8%を占めている。



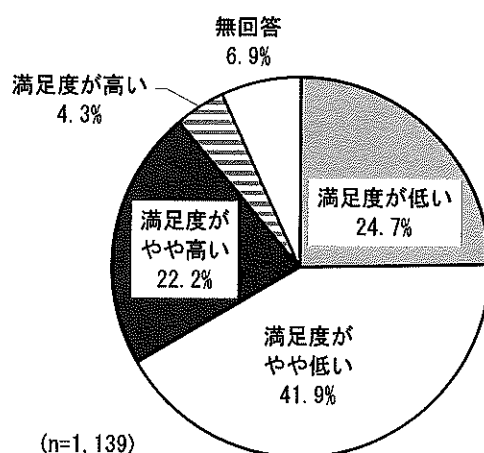
(2) 子育てに関する相談機能や情報提供や、子育てサークルなどへの支援等、地域における子育て支援サービスの充実に対する満足度 [就学前児童…問38-1]

■地域における子育て支援サービスの充実に対する満足度については、「満足度がやや低い」が40.7%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(35.9%)で、『満足度が低い』は52.8%を占めている。



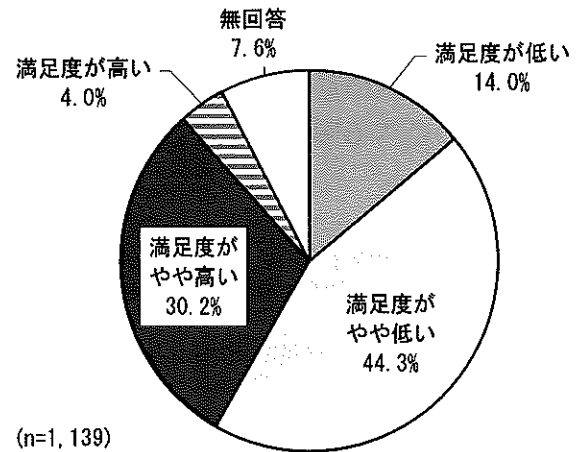
(3) 仕事と子育ての両立ができる職場環境、延長保育・休日保育や学童保育などの保育サービスへの満足度 [就学前児童…問38-2]

■仕事と子育ての両立ができる職場環境、延長保育・休日保育や学童保育などの保育サービスへの満足度については、「満足度がやや低い」が41.9%で最も多く、次いで「満足度が低い」(24.7%)で、『満足度が低い』は66.6%を占めている。



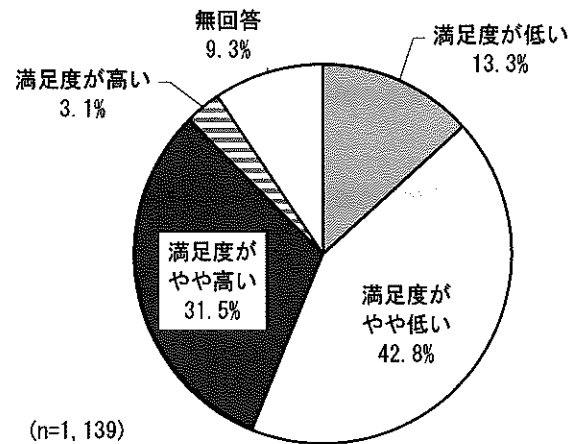
(4) 就学前教育・保育・学校教育の充実、子どもの視点を取り入れた社会づくりへの満足度 [就学前児童…問38-3]

■就学前教育・保育・学校教育の充実、子どもの視点を取り入れた社会づくりへの満足度については、「満足度がやや低い」が44.3%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(30.2%)で、『満足度が低い』は58.3%を占めている。



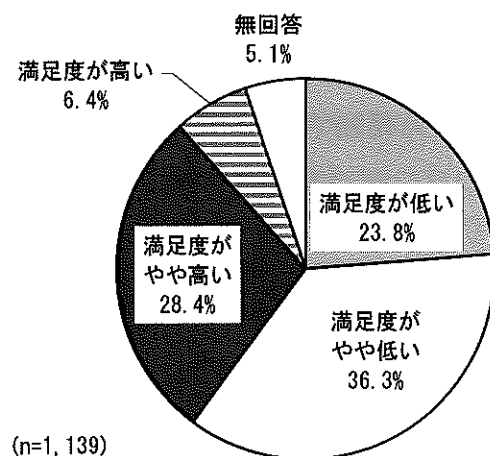
(5) 保健・医療体制の充実や障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度 [就学前児童…問38-4]

■保健・医療体制の充実や障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度については、「満足度がやや低い」が42.8%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(31.5%)で、『満足度が低い』は56.1%を占めている。



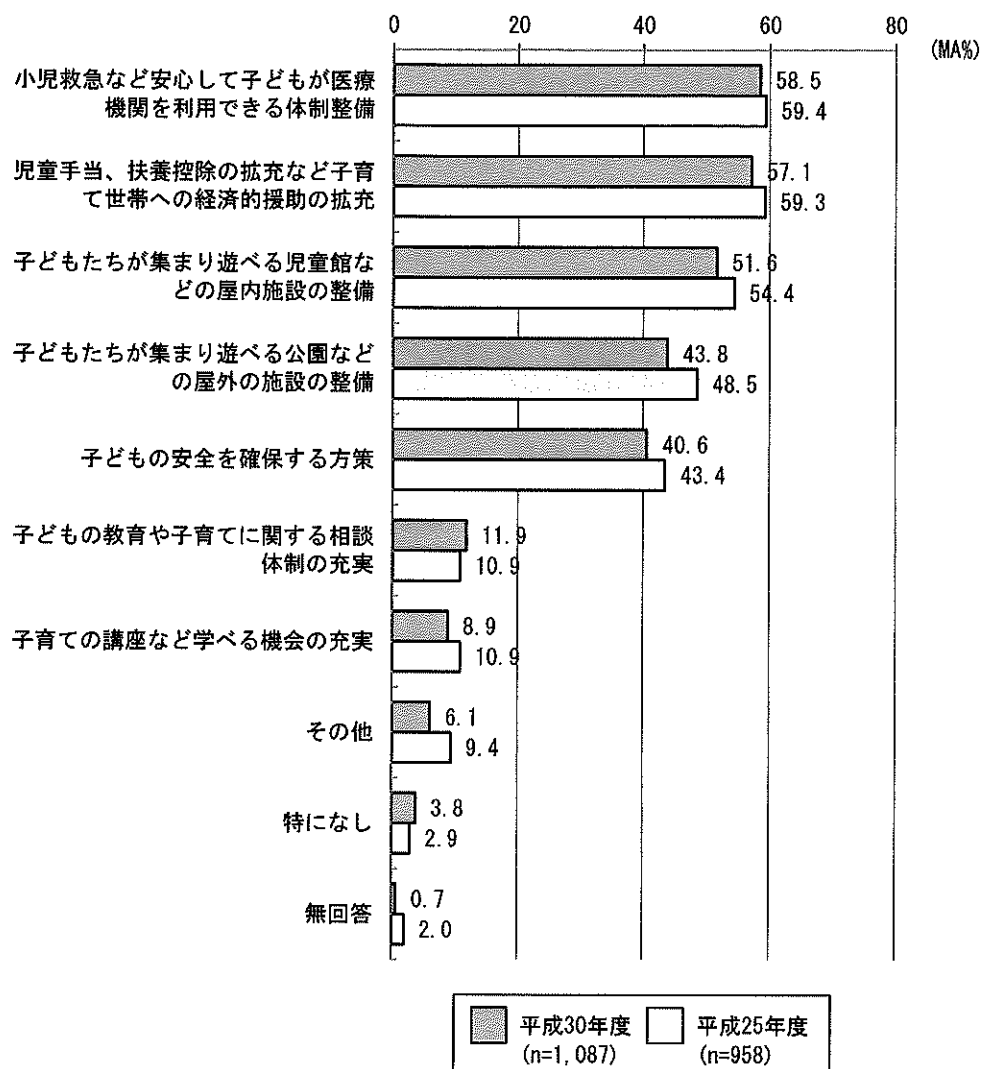
(6) 教育・保育や医療への経済的な助成に対する満足度 [就学前児童…問38-5]

■教育・保育や医療への経済的な助成に対する満足度については、「満足度がやや低い」が36.3%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(28.4%)で、『満足度が低い』は60.1%を占めている。



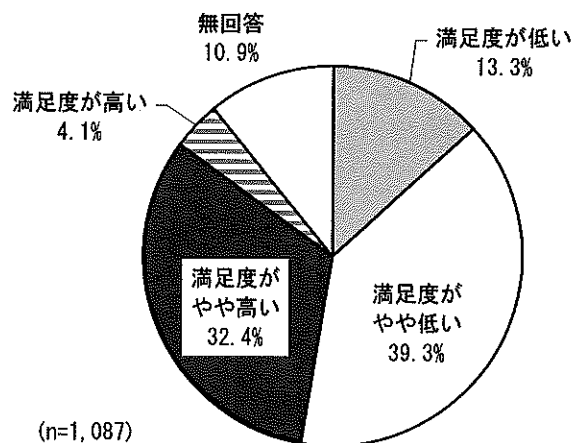
(7) 市役所などに対して充実してほしいサービス [小学生…問22]

■市役所などに対して充実してほしいサービスについては、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制整備」が58.5%で最も多く、次いで「児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」が57.1%、「子どもたちが集まり遊べる児童館などの屋内施設の整備」が51.6%となっている。



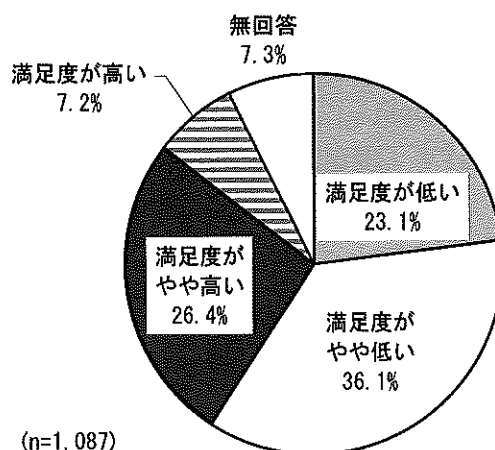
(8) 教育相談や家庭教育支援の充実に対する満足度 [小学生…問22-1]

■教育相談や家庭教育支援の充実に対する満足度については、「満足度がやや低い」が39.3%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(32.4%)で、『満足度が低い』は52.6%を占めている。



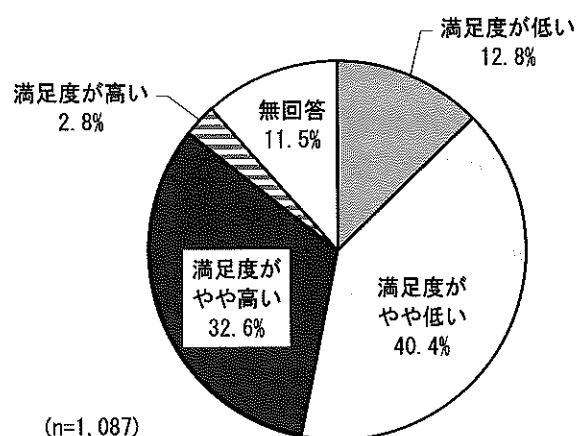
(9) 放課後における子どもの居場所の確保・充実への満足度 [小学生…問22-2]

■放課後における子どもの居場所の確保・充実への満足度については、「満足度がやや低い」が36.1%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(26.4%)で、『満足度が低い』は59.2%を占めている。



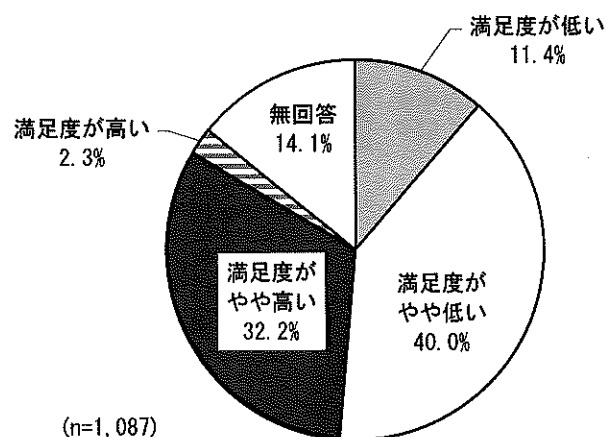
(10)「生きる力」を育む教育の推進、子どもの健全育成への満足度 [小学生…問22-3]

■「生きる力」を育む教育の推進、子どもの健全育成への満足度については、「満足度がやや低い」が40.4%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(32.6%)で、『満足度が低い』は53.2%を占めている。



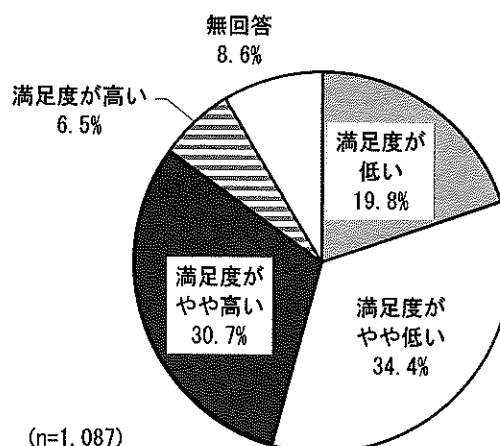
(11) 障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度 [小学生…問22-4]

■障害・虐待など、さまざまな課題を抱える子ども・家庭への支援に対する満足度については、「満足度がやや低い」が40.0%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(32.2%)で、『満足度が低い』は51.4%を占めている。



(12) 教育・保育や医療への経済的な助成に対する満足度 [小学生…問22-5]

■教育・保育や医療への経済的な助成に対する満足度については、「満足度がやや低い」が34.4%で最も多く、次いで「満足度がやや高い」(30.7%)で、『満足度が低い』は19.8%を占めている。

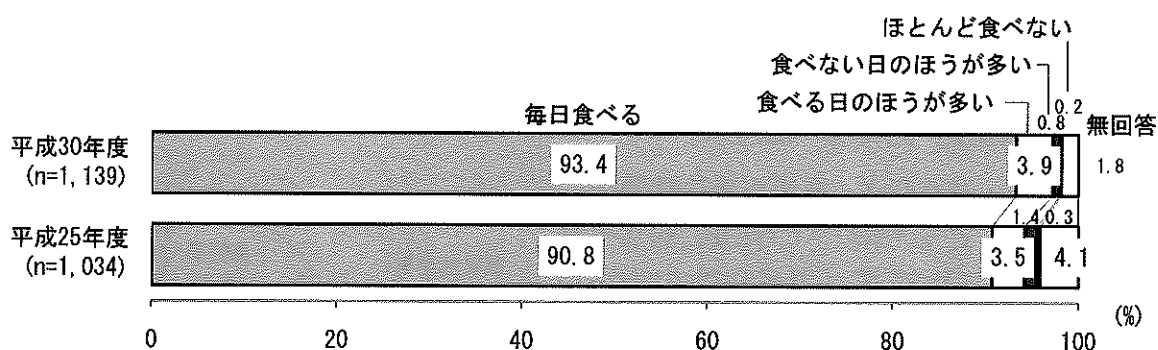


9 子どもの生活習慣について

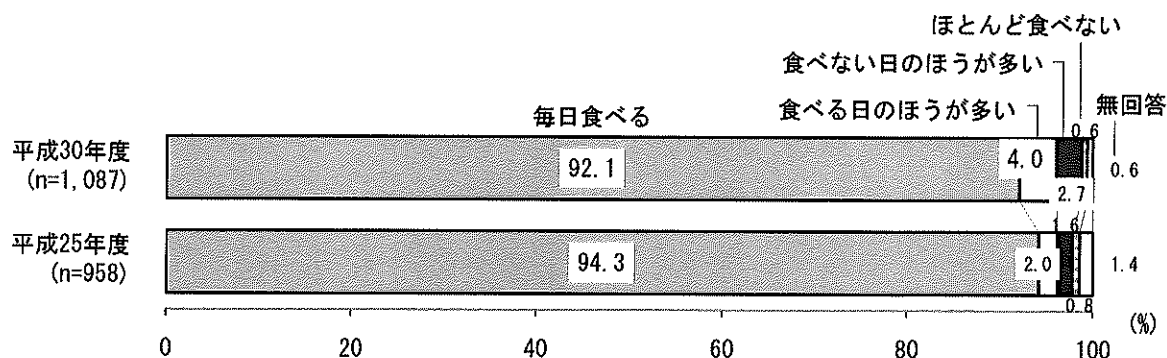
(1) 子どもの朝食習慣 [就学前児童…問40(1)、小学生…問23(1)]

- 子どもの朝食習慣については、就学前児童は「毎日食べる」が93.4%を占めており、次いで「食べる日のほうが多い」が3.9%となっている。平成25年度調査に比べて「毎日食べる」は2.6ポイント高くなっている。
- 小学生は「毎日食べる」が92.1%を占めており、次いで「食べる日のほうが多い」が4.0%となっている。平成25年度調査に比べて「毎日食べる」は2.2ポイント低くなっている。

【就学前児童】

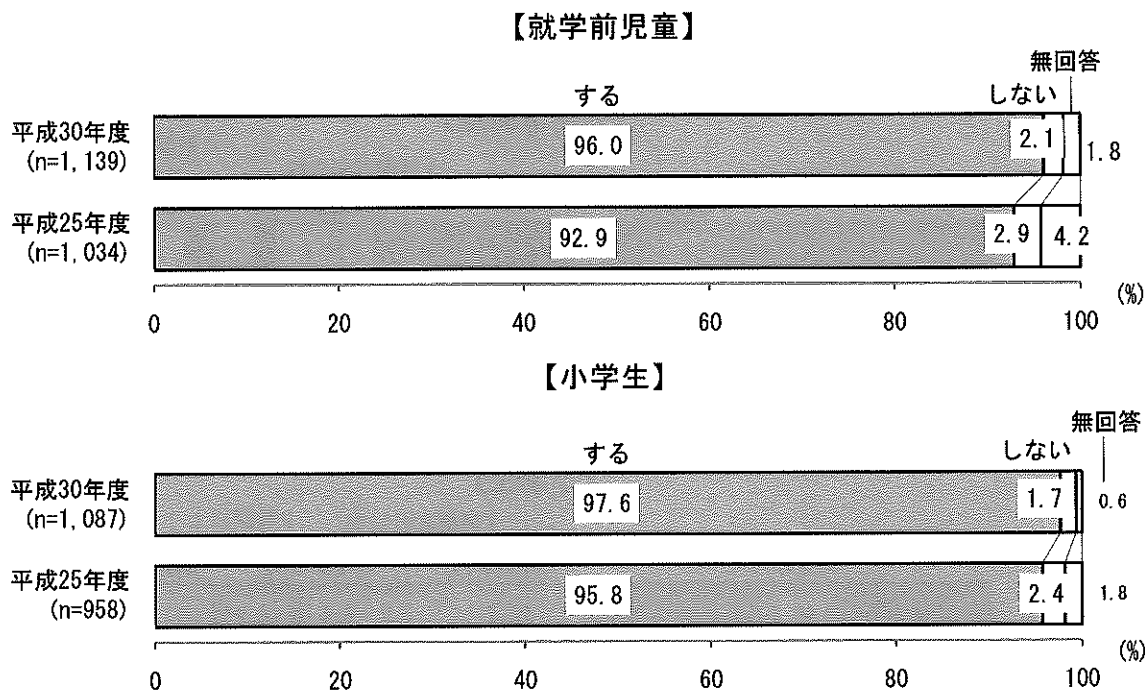


【小学生】



(2) 1日1回以上の家族との共食有無 [就学前児童…問40(2)、小学生…問23(2)]

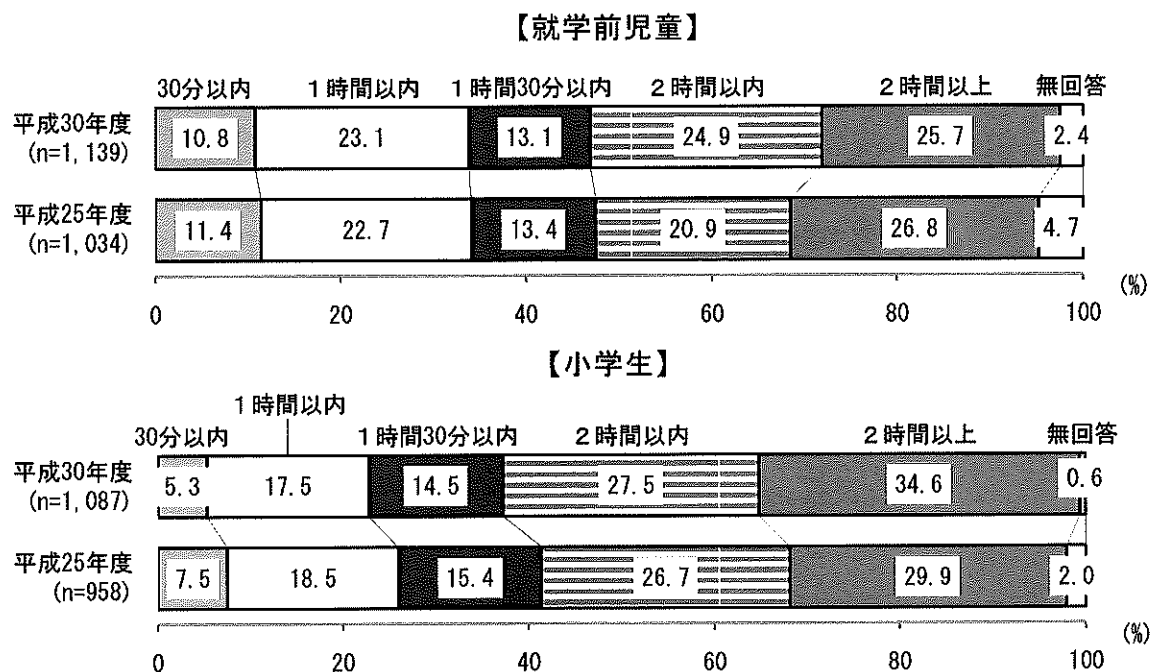
- 1日1回以上の家族との食事については、就学前児童は「する」が96.0%を占めており、平成25年度調査に比べて3.1ポイント高くなっている。
- 小学生は「する」が97.6%を占めており、平成25年度調査に比べて1.8ポイント高くなっている。



(3) 子どものテレビなどの平日1日あたりの平均視聴時間

[就学前児童…問40(3)、小学生…問23(3)]

- 子どものテレビなどの平日1日あたりの平均視聴時間については、就学前児童は「2時間以上」が25.7%で最も多く、次いで「2時間以内」(24.9%)であり、平成25年度調査に比べて「2時間以上」は1.1ポイント低くなっている。
- 小学生は「2時間以上」が34.6%で最も多く、次いで「2時間以内」(27.5%)であり、平成25年度調査に比べて「2時間以上」は4.7ポイント高くなっている。

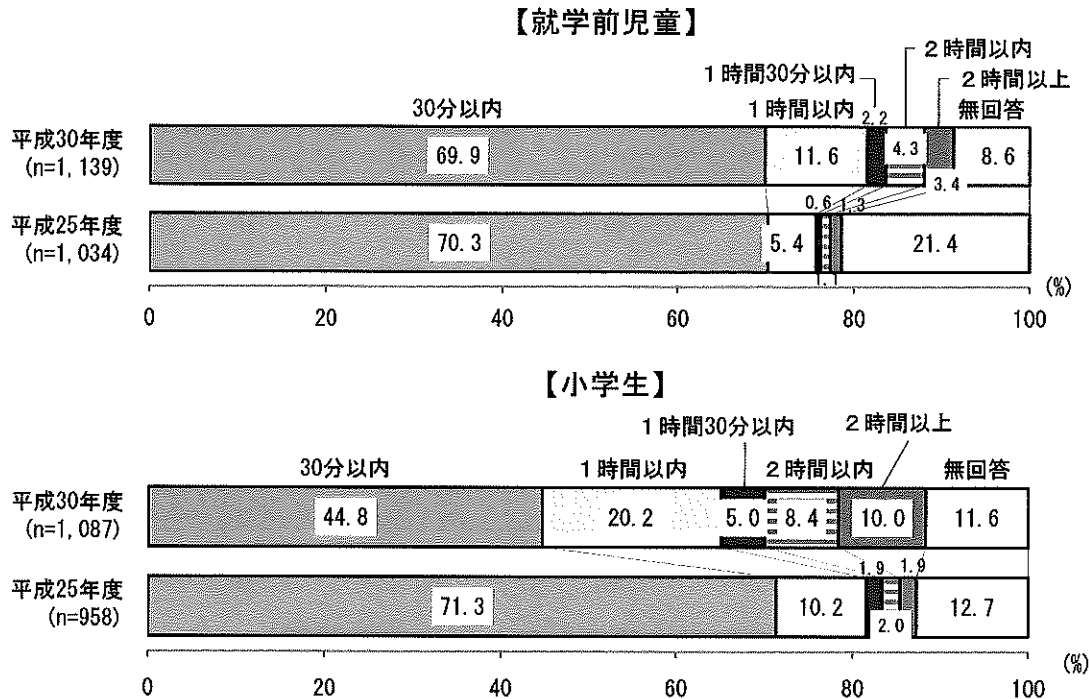


(4) 子どものインターネット・スマートフォンの平日1日あたりの平均利用時間

[就学前児童…問40(4)、小学生…問23(5)]

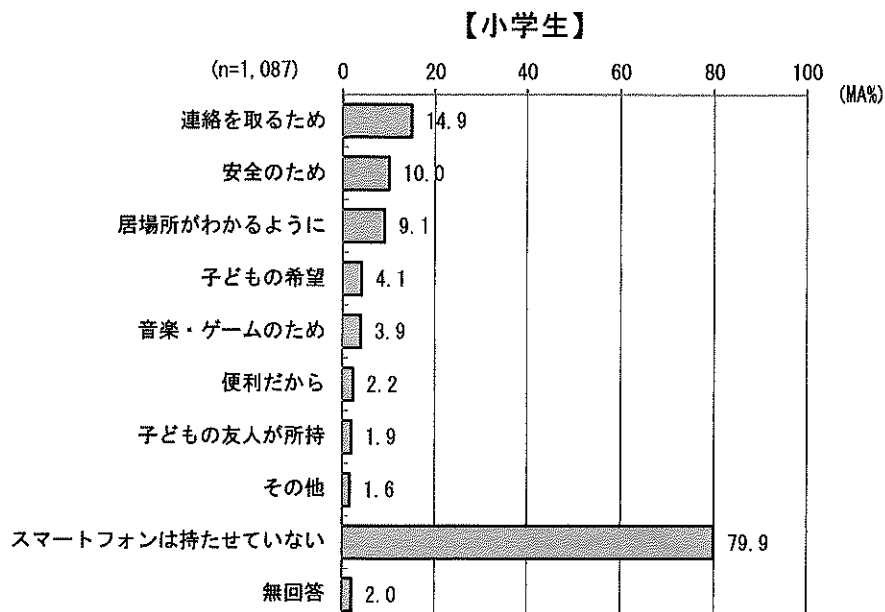
■子どものインターネット・スマートフォンの平日1日あたりの平均利用時間については、就学前児童は「30分以内」が69.9%で最も多く、次いで「1時間以内」(11.6%)であり、平成25年度調査に比べて30分以上はいずれも高くなっている。

■小学生は「30分以内」が44.8%で最も多く、次いで「1時間以内」(20.2%)であり、平成25年度調査に比べて30分以上はいずれも高くなっている。



(5) 子ども専用のスマートフォンの所持状況 [小学生…問23(4)]

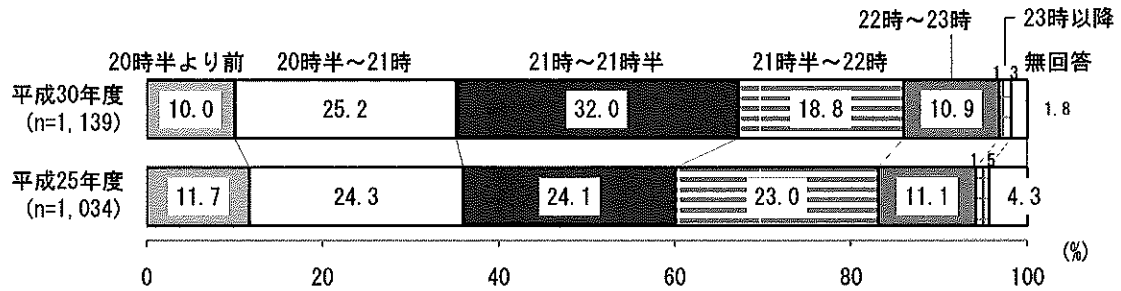
■小学生の子ども専用のスマートフォンの所持状況については、「スマートフォンは持たせていない」が79.9%で最も多く、持たせている理由は「連絡を取るため」(14.9%)が最も多く、次いで「安全のため」(10.0%)、「居場所がわかるように」(9.1%)となっている。



(6) 子どもの就寝時刻 [就学前児童…問40(5)、小学生…問23(6)]

- 子どもの就寝時刻については、就学前児童は「21時～21時半」が32.0%で最も多く、次いで「20時半～21時」(25.2%)であり、平成25年度調査に比べて「21時～21時半」は7.9ポイント高くなっている。
- 小学生は「21時半～22時」が32.5%で最も多く、次いで「21時～21時半」(30.1%)であり、平成25年度調査に比べて22時以降はやや高くなっている。

【就学前児童】



【小学生】

